



トランスフォーメーションパターンの設定

- [変換パターンの概要 \(1 ページ\)](#)
- [トランスフォーメーションパターンの設定タスクフロー \(1 ページ\)](#)

変換パターンの概要

変換パターンは、着信コールまたは発信コールでダイヤルされた数字をシステムがどのように操作するかを決定します。コールまたは呼び出された番号を、システムが電話機または PSTN に送信する前に変更する必要がある場合は、変換パターンを設定できます。

変換パターンを使用して、数字、プレフィックスの付いた数字の廃棄、発信者のトランスフォームマスクの追加、発信者番号のプレゼンテーションの制御を行うことができます。

次のことが可能です。

- 呼び出された関係者変換 CSS を使用して、通話関係のパターンにヒットします。
- コール関係者変換の CSS を使用して、通話先変換のパターンにヒットします。

トランスフォーメーションパターンの設定タスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	発信側トランスフォーメーションパターンの設定 (2 ページ)	このプロセスを使って呼び出し元の番号を変換します。例えば、PSTNを呼び出したときに、発信者の内線番号をオフィスのマスター番号で置き換える変換モードを設定しても良い。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	着信側トランスフォーメーションパターンの設定 (3 ページ)	この手順を使用して、着信側の番号を変換します。着信番号の変換：たとえば、10 桁の番号としてダイヤルされたコールの最後の 5 桁のみを保持する。
ステップ 3	変換プロファイルの設定 (3 ページ)	オプション: 次の手順は、Cisco の会社間メディアエンジン (cisco IME) を使用している場合のみ実行してください。ダイヤルされた番号を E.164 形式に変換するには、トランスフォーメーションプロファイルを設定する必要があります。

発信側トランスフォーメーションパターンの設定

このプロセスを使って呼び出し元の番号を変換します。例えば、PSTNを呼び出したときに、発信者の内線番号をオフィスのマスター番号で置き換える変換モードを設定しても良い。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[Call Routing (コールルーティング)] > [トランスフォーメーション (Transformation)] > [トランスフォーメーションパターン (Transformation Pattern)] > [着信側トランスフォーメーションパターン (Calling Party Transformation Pattern)]。

ステップ 2 次のいずれかのオプションを選択します。

- 新しい変換後のパターンを追加するには、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- 既存のパターンを選択するには、[検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 3 [パターン (pattern)] フィールドで、発信者番号と一致させるパターンを入力します。

(注) 発信コールの場合：

事前トランスフォーメーション発信側番号に基づいて、発信者のトランスフォーメーションマスクが選択されます。(IP 電話に割り当てられた内線番号)。

SIP トランクで発信側トランスフォーメーションマスクを選択する間に、ルートパターンまたはグループで発信側番号が別の番号に変換された場合、発信側トランスフォーメーションマスクの選択には常に事前トランスフォーメーション発信側番号が使用されます。

Dialed Number Analyzer (DNA) に従っている限り、変換された番号を使用して発信側トランスフォーメーションマスクが選択されます。ただし、これは DNA の動作としては正しくありません。

- ステップ4** [関係者の変換パターンの設定] ウィンドウで、残りのすべてのフィールドに入力します。フィールドと設定オプションの詳細については、システムのオンラインヘルプを参照してください。
- ステップ5** [保存 (Save)] をクリックします。

着信側トランスフォーメーションパターンの設定

この手順を使用して、着信側の番号を変換します。たとえば、10桁の番号でダイヤルされたコールの最後の5桁のみを保持するトランスフォーメーションパターンを設定できます。

手順

- ステップ1** Cisco Unified CM Administration から、[コールルーティング (Call Routing)] > [トランスフォーメーション (Transformation)] > [トランスフォーメーションパターン (Transformation Pattern)] > [着信側トランスフォーメーションパターン (Called Party Transformation Pattern)] を選択します。
- ステップ2** 次のいずれかのオプションを選択します。
- 新しい着信側トランスフォーメーションパターンを追加するには、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - 既存のパターンを選択するには、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ3** [パターン (Pattern)] フィールドで、着信番号と一致させるパターンを入力します。
- ステップ4** [着信側トランスフォーメーションパターンの設定 (Called Party Transformation Pattern Configuration)] ウィンドウで、残りのフィールドに入力します。フィールドと設定オプションの詳細については、システムのオンラインヘルプを参照してください。
- ステップ5** [保存 (Save)] をクリックします。

変換プロファイルの設定

Cisco Intercompany Media Engine (Cisco IME) を使用している場合にのみ、次の手順を実行します。ダイヤルされた番号をE.164形式に変換するには、トランスフォーメーションプロファイルを設定する必要があります。E.164形式では、国際対応の「+」が先頭につきます。たとえば、「+14085551212」です。

手順

- ステップ1** Cisco Unified CM Administration から、[コールルーティング (Call Routing)] > [トランスフォーメーション (Transformation)] > [トランスフォーメーションプロファイル (Transformation Profile)] を選択します。

ステップ2 次のいずれかのオプションを選択します。

- 新しいトランスフォーメーションプロファイルを追加するには、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- 既存のトランスフォーメーションプロファイルの設定を変更するには、[検索 (Find)] をクリックし、結果のリストからパターンを選択します。

[トランスフォーメーションプロファイルの設定 (Transformation Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ3 [トランスフォーメーションプロファイルの設定 (Transformation Profile Configuration)] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドと設定オプションの詳細については、システムのオンラインヘルプを参照してください。

ステップ4 [保存 (Save)] をクリックします。
